日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

ICMA年次総会カンファレンスにおける日本のトランジション戦略に関するラウンドテーブルの開催について

日本証券業協会

© Japan Securities Dealers Association.All Rights Reserved.

ICMA年次総会カンファレンスにおける
日本のトランジション戦略に関するラウンドテーブルの開催について

JSDA

2024年5月22日(水)～24日(金)の3日間にわたり開催された、国際資本市場協会(ICMA)年次総会(於ブリュッセル)にて、カンファレンスのプログラムの一つとして、日本のトランジション戦略の意義を伝えることを目的とした海外市場関係者向けのラウンドテーブルを開催。多くの市場関係者が出席し、活発な議論が行われた。

タイトル	**日本のクライメート・トランジション戦略（Japan Climate Transition: The Frontier with Finance）**
共　催	日本証券業協会、日本政策投資銀行、大和証券
日　時	5月24日(金)　午前10時00分～10時45分
場　所	ICMA 年次総会 会場内会議室(ブラッセル・コンベンションセンター　スタジオ 201)
参加者	約50名　海外市場関係者(機関投資家等)、日本関係者(財務省 理財局 佐藤国債企画課長、経済産業省 小林大臣官房審議官(環境問題担当)、日本格付研究所(JCR)、日本政策投資銀行(DBJ)、大和証券、日本証券業協会)、CBI、ICMA 等
当日の 主なプログラム	**①開会挨拶：** 日本証券業協会　松尾専務理事 **②ICMA挨拶：** ICMA ニコラス ファフ　副チーフ・エグゼクティブ（ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙ・ﾌｧｲﾅﾝｽ統括＜司会＞） **③GX戦略・GX国債等の概要・意義：** 財務省、経済産業省、JCR、DBJ、大和証券等 **④自由討議・質疑応答** **⑤閉会挨拶：** ICMA 林理事（BofA証券 副社長）
当日の海外 参加者からの 発言(抜粋)・ 模様	● 「トランジションは単なる選択肢ではなく、気候変動対策に不可欠な要素。日本のトランジション戦略は国の政策と結びつく形で策定され、他国もモデルとして参考にし得るものとして高く評価」 ● 「トランジションの推進にあたっては、その段階的な進捗状況を市場関係者に説明していくことが重要」

© Japan Securities Dealers Association. All Rights Reserved.

（参考）国際資本市場協会（ICMA）について

- 国際資本市場協会（ICMA）は、欧州を中心に世界約66カ国、約600の金融機関が加盟する国際団体であり、国際的な債券市場の発展に寄与している。チューリッヒ及びロンドンに本部を置き、スイス及び英国当局から自主規制機関として認められている。
- 本協会とは2008年に業務協力のための覚書（MOU）を取り交わしており、日本証券サミット（ロンドン開催）及び年次サステナブル・ボンド・カンファレンスを共催している。
- また、ICMAのアジア太平洋地域事務所は、本協会が常設事務局を務めるアジア証券人フォーラム（ASF）にメンバー機関として加盟している。

© Japan Securities Dealers Association. All Rights Reserved.